

令和7年度第7回 人的資源の地域での活用研修会 研修会報告

この研修会は、地域の人的資源を活用し、病院、在宅、介護現場で働く人たちの連携を促進・強化するとともに、根拠に基づいた知識・技術を習得し地域全体の看護・介護の質向上を図ることを目的として開催しました。

今回は、27名の方がご参加くださいました。

日 時	令和7年11月12日(水) 15:00~16:30
開催場所	特別養護老人ホーム 山水園
講 師	日本海総合病院 摂食嚥下障害看護認定看護師 池田 真喜 氏
開催内容	摂食嚥下障害のある利用者の援助のポイント - 講義 - 食事援助で大切なこと 摂食嚥下のしくみ - 食事前,中,後,の観察 姿勢 援助のポイント - トロミについて - ラウンド
参加人数	12人

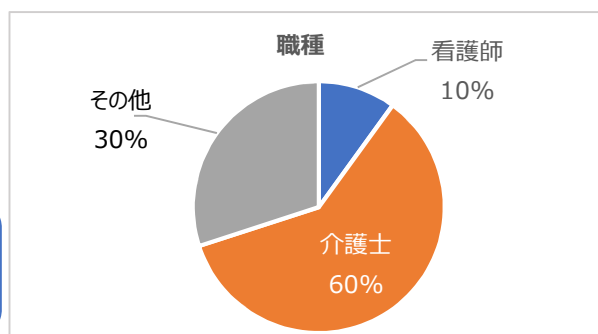
※アンケート回答状況：参加者12名中回答者10名（回答率：83%）

I. 参加者について

1. 職種

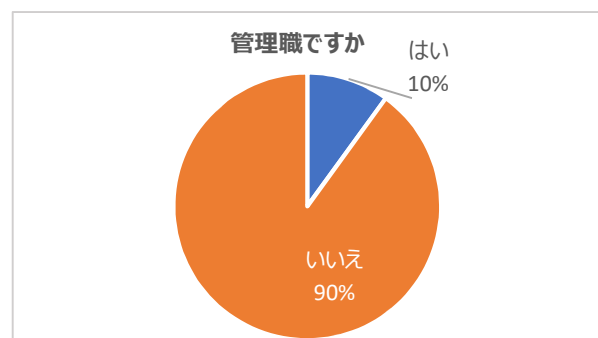
看護師	1
介護士	6
ケアマネジャー	0
その他	3
回答なし	0
計	10

その他内訳
管理栄養士(1)
機能訓練指導員(1)
回答なし(1)



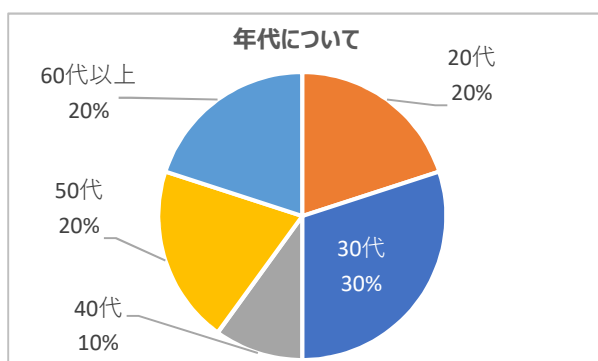
2. 管理職ですか。

はい	1
いいえ	9
回答なし	0
計	10



3. 年代について

10代	0
20代	2
30代	3
40代	1
50代	2
60代以上	2
回答なし	0
計	10



Ⅱ. 研修会の内容について

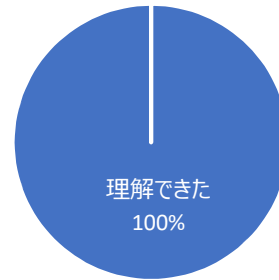
1. 研修会の内容は理解できましたか。

理解できた	10
理解できなかった	0
どちらともいえない	0
回答なし	0
計	10

【理解できた】

- ・アルツハイマー型認知症の方の対応について詳しく知ることができた。
- ・基本が大事だと感じた。姿勢をこれからも大事にして援助したいと思った。

研修会の内容は理解できましたか。



2. 研修会で学んだことは実践の中で活用できそうですか。

活用できる	9
活用できない	0
どちらともいえない	1
回答なし	0
計	10

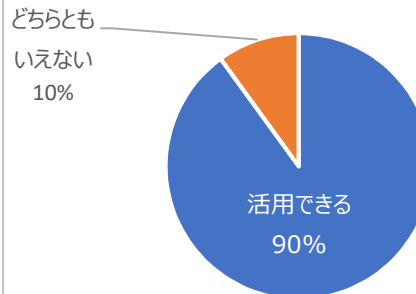
【活用できる】

- ・食事一つとっても、姿勢・周囲の環境で食べ方が全然変わるので、その方に合った方法を探したいと思った。
- ・足をつけることの重要性を再確認できた。窒息と関係あるのが知れて良かった。

【どちらともいえない】

- ・食事介助の機会なし。

実践の中で活用できそうですか。



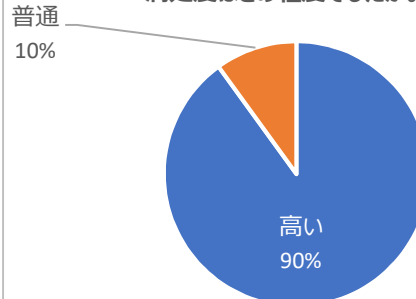
3. 研修会に参加して全体的な満足度はどの程度でしたか。

高い	9
普通	1
低い	0
回答なし	0
計	10

【高い】

- ・アルツハイマーの初期と中期の食事状況について理解できた。

満足度はどの程度でしたか。



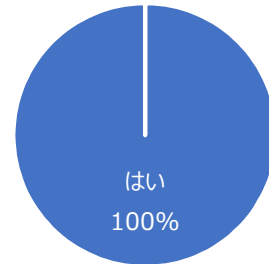
4. 今回の研修会を受講してみて次回も利用したいと思いましたが。

はい	10
いいえ	0
どちらともいえない	0
回答なし	0
計	10

【はい】

・山水園の利用者の方も認知症でも食事が好きな方が多くいるので、少しでも安全に心地よく食事摂取し、日常生活の楽しみに繋がれば良いと思った。

次回も利用したいと思いましたが。



参加者の皆さまからの声をご紹介します

- ・ 食事、姿勢の大切さ等、確認することができた。アルツハイマーの方の症状（味覚—甘い物は感じる—）…そうだったのか…。利用されている方に少しでも役に立てるように、これからも介助を行っていきたいと思う。
- ・ 利用者さんで食べ方、飲み込み方がそれぞれ違うので、誤嚥をおこさないよう気を付けなければいけないと思った。
- ・ 食事介助をしていく上で重要なことがわかった。今後の介助につなげられるようにしたい。
- ・ 施設勤務は初めてですが、嚥下のことはあまりよく知らず、今日お話を聞いて、これからも、もっと勉強なくてはと思った。すごく勉強になった。（姿勢やトロミ等）
- ・ 食事の際、声かけはするのですが、直ぐに食べさせてしまうので、アナウンスをするようにしたいと思う。
- ・ アルツハイマー型認知症の特徴をとらえて食事介助することが大切なんだと学ぶことができた。誤嚥性肺炎、窒息にならないよう安全安心に食事介助を行っていきたい。
- ・ アルツハイマーの方でも、進行具合などこまやかに配慮し、現状をしっかりと把握していくことが大事だと感じた。食事であることの認識をしっかりともらうよう、声かけも都度しっかりと行い介助していきたい。



在宅医療・介護連携支援室ポンテ